

# 大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成16年(2004)

平成16年 春の大祭号(69号)

<http://www.ohmiya-hachiman.gu.or.jp>

## 主な目次

春は日独さくらの女王とともに...	2頁
御鎮座九四〇年記念事業.....	3頁
杜の話題.....	6頁
今後の行事.....	8頁
春の大祭のご案内.....	11頁





芽が膨らんで来ています。寒い冬によく耐えて草木が一斉に芽吹く様子は、将に若々しい生命を育む神々がお宿りになつてゐるかの如く神秘的な春の息吹きが感じられます。

待ちわびた春の季節の訪れを告げるかのよう、三月十六日に早くも境内のさくらが咲き始めました。

# 春は日独さくらの女王とともに

宮司 鎌田 紀彦

さて昨年の御鎮座九四〇年を奉祝しての記念の整備事業も奉賛会実行委員の皆様熱心なご尽力に依る勸募活動に依つて目標額を立派に達成して頂き、北参道の整頓と赤門の改修工事の竣工を以て見事に完遂して頂くことが出来ました。

大神様のご神慮はもとよりのこと、ご奉賛の皆様のご誠の賜ものと心から感謝を致しているところでございます。

又赤門修復中に二〇九年前の落書が発見され、現存する当宮境内の建物の中で文化的価値の存在が確認された事は有意義な事でありました。その余韻の残る修復された赤門脇の神苑に、ご縁のある財団法人日本さくらの会（会長河野衆議院議長）より三度目となりますが、御鎮座九四〇

味していると言われています。主に山櫻ですが、花が咲き初めると、稲の穂初を水に浸し始めると云う、いよいよ田の神様に見守られて稲作の始まりの合図であったようです。云わば稲作の曆の始まりです。

又さくらは古来、花の王と称されて日本の国花として、古くは「花」と云えば櫻を指してまいりました。

「敷島の大和心を人とはば 朝日に匂ふ山櫻花」と詠んだ有名な本居宣長の歌でも、青空の朝日に映える山櫻を観て、理屈抜きで素晴らしいと愛でる素直な心が、日本の心であると謳つています。

その様な日射しの三月十九日に大宮幼稚園の第五十四回目の卒園式が行われ、御社殿での奉告祭のあと、一〇二名（男児五十四名、女児四十八名）の卒園児一人ひとりに保育証書を渡し、つかりと私の眼をみて受け取り「ありがと」ございましたと大きな声で挨拶をしていました。勿論式典の中でも国歌「君が代」も大きな声で斉唱出来まし、式の終りまで皆んな揃つてきちんと座つておりました。大神様のご加護のもと三年前や二年前と較べますと見違える様に大きく成長したその姿は、光の子の様に素直で強くやさしく一人ひとりが、神の子の様にビカビカの一年生さくらのもので、逞しく感じられました。きつと子育て八幡さまのご神前で舞つた朝日子の舞や運動会、お遊戯会など沢山の良き思い出をつくつた幼稚園は、心のふるさとでもあり、いつまでも心に残ることでしょう。幼児期の大切な人格形成のお手伝いをさせて頂いたことに改めて感謝致し、これから小学生、中学生へと進むにつれて、更に立派に大成して呉れるものと信じております。

年奉祝記念樹として、さくら「八重紅枝垂」のご奉納を頂きました。三月二十八日の温かいおだやかな日、花見を兼ねた参拝者で賑わう中、第二十二代さくらプリンセスと第二十三代ドイツ・ハンブルクのさくら女王をお迎え致し、杉並区長様にもお立会い頂き盛大な植樹祭を賑々しく斎行させて頂き、御鎮座九四〇年のご神威を更に高揚させて頂くことが出来ました。事は、大変光栄な事でございます。

植樹祭のあと、日・独両女王を茶室通仙庵の間にご案内し、淡交会東京六東支部幹事長庵の皆様による、さくらつくしのお茶のおもてなしを受けて頂きましたが、茶道の奥深い日本文化にも触れ親しんで頂き、とても感動の様子でした。亦社頭でも華やかなお二人は爛漫と咲くさくらの下で、折からの参拝の初宮詣のご家族や結婚式の新郎新婦と一緒にカメラにおさまるなど、大サレビス振り、レセプションでもご参列の役員・総代の皆様とも楽しく親しく懇談して頂きました。国際親善のより深まった一日でありました。



### 御鎮座九四〇年記念事業の概要

#### 【第一期事業】

- 一、神門前参道広場（大被・遙拝祭場）の整備  
「イーターロック」舗装工事一式  
平成十五年八月一日竣功
- 一、南参道入り口の整備  
社号標（一基）燈籠（一基）  
石玉垣舗設工事  
平成十五年五月一日竣功

#### 【第二期事業】

- 一、拜殿釣燈籠の新調 四基  
（一基五〇万円）「四基共奉納済」
- 一、大宮稲荷鳥居の再建 五基  
（一基五〇万円）「五基共奉納済」
- 一、宝物殿朱塗替工事一式  
平成十五年八月三十一日竣功
- 一、北参道の整備  
赤門（基礎上げ及び朱塗替え工事他）敷石改修工事  
平成十六年三月十五日竣功
- 一、祭典費・記念品費・事務費等諸経費  
合計 五、〇〇〇万円

#### \*ご奉賛のお願い

尚、春の大祭終了まで、引続き奉賛活動を進めておりますので、皆様方には引き続き格別なるご篤志を以て、一口（一万円）以上のご奉賛を仰ぎ度く再度お願い申し上げます。何卒ご協賛を賜り、大神様とのご神縁をより深いものとして頂きますようお願い申し上げます。

大宮八幡宮奉賛会  
実行委員長 高橋住雄  
大宮八幡宮 宮司 鎌田紀彦

### 大宮八幡宮奉賛会よりお知らせ

平成十五年に、御鎮座九四〇年を迎えるにあたり、大宮八幡宮奉賛会を平成十四年六月一日に結成し、爾来二年に亘り、記念事業推進の為勸募活動をお願いしてまいりましたが、お陰様で氏子・崇敬者の皆様の真心籠るご浄財のご奉賛を賜わり、この度、奉賛目標を達成し、第二期整備事業の追加工事を残すのみとなりましたので、勸募活動は春の大祭を以て一応終了し、六月十五日に記念事業の竣功

奉告祭と祝賀式を行う予定となっており、詳細が決まり次第関係者各位にご案内いたします。

### 御鎮座九四〇年記念第二期事業 北参道整備工事が竣功

当宮御鎮座九四〇年記念事業の第二期事業として工事が進められていた北参道整備工事がこのほど竣功、去る三月十五日竣功清祓式が執り行われました。

今度の工事は北参道赤門の修復と参道の整備を行うもの。赤門は昭和四十年の御鎮座九百年事業で現在地に移築されて以来の改修。工事は従来の基礎と柱の間に沓石と呼ばれる礎石を施し、全体の高さを従来より六十センチ高上げ。それに伴い通路を斜路としてバリアフリー化しました。また御屋根の銅板葺き替え、柱の根元部分の補修を実施。朱塗り替え工事も行われ、あとは扉板の飾り金具の取付け工事を以て建立当時の結構が復元されます。

さらにこれまでのアスファルト舗装の北参道も改修。表参道で使用されていた稲田石の敷石を移設、左右に玉砂利を敷き詰め、和田堀公園口の景観を一新しました。

### 赤門の落書き発見!! 元禄再建時の建物か

この赤門は、もともとは正門で前記の通り御鎮座九四〇年に際し現在地に移築されまし



た。今回の改修工事で色を落としている際に、釘で書いたような二〇九年前の「寛政七卯年五月三日 中山、中根」の書き込みが扉板から発見されました。

古記録によれば元禄十年（一六九七）に境内の大改造が行われたとあり、赤門もこの時建立され、下つて寛政七年改修の際に書かれたのか、あるいは寛政七年が建立年だったのか、いずれにせよ区の文化財委員の鑑定で赤門が江戸中期以前のもものと認められました。

#### 大宮八幡宮御鎮座九四〇年奉賛者芳名(四)

- 平成十五年十一月二十一日〜平成十六年三月三十一日
- 一、金 百万円也 小林平三
  - 一、金 貳拾参万円也
  - 一、西新宿アナルクリニック・鈴木道也（参拾参万円追加）
  - 一、金 貳拾貳万円也 大宮八幡宮振武会（貳万円追加）
  - 一、金 八万円也 後藤幸二郎（参万円追加）
  - 一、木村裕（伍万円追加） 尾身善男（参万円追加）
  - 一、金 伍万円也 兵庫県立篠山鳳鳴高等学校・東京三二会
  - 一、工藤晴太郎 根岸喜一郎 秋元修 角田トミ 加古幸博
  - 一、高木嘉子 菊地正明
  - 一、金 四万円也 吉川商事株（参万円追加）
  - 一、金 参万円也 高谷重城 奥村悦 大宮幼稚園父母の会
  - 一、金 貳万円也
  - 一、小村勇二 横尾光晴 振武殿師範代・斉藤清
  - 一、木田哲量 日暮康男（参万円追加）
  - 一、金 参万円也 本郷美智子
  - 一、金 参万円也
  - 一、松島弘幸 榊原市郎 岩間靖子 北村繁 松田滋
  - 一、関戸明夫 高橋和靖 杉崎健一 畑浩一郎 木村二郎
  - 一、伊藤安豊 山本よし枝 産本真作 平澤大 糸野秀夫
  - 一、糸野昇 糸野信夫 上勝鉄夫 石井健博
  - 一、グリップ 商事株 荒木智恵美 株サクラ食品工業
  - 一、小川春夫 組澤利雄 宇田川正治 石松高典
  - 一、篠伊三郎 杉浦俊枝 橋本聡

#### 神具奉納

一、金 伍万円

この度、方南峰・葦栄地区総代世話人御一同より神具代として右浄財が奉納されました。

# 初宮詣芳名

平成十五年六月十四日、平成十五年六月二十九日  
平成十五年十一月十六日、平成十六年三月三十一日

お健やかな成長をお祈りいたします

越川凜紀 安達紀考 大津理佳  
清水れいな 横野葵 内田勇也  
酒井太幹 市村心暖 小池愛澄  
石川咲花 長谷真碧 吉田汐音  
浅井彩 仲山航 小椋陽仁  
五十嵐優 近山陽太郎 中澤凱  
今川颯希 相原瑞乃 丸山朝葉  
倉原友樹 小沼由輝 井口乙薫  
重見明里 江原菜未 西村光陽  
渡邊悠人 小池嘉生 梶岡駿磨  
佐々木智光 長池唯花 北村美裕  
鈴木涼平 松嶋日々生 松嶋周二  
長堀翔 高本佳奈子 長峯桃  
西田颯斗 片山まこ 北原大瑚  
田中翔子 田中響子 小野翔真  
太田原歩圭 夏見琴音 太組光陽  
山内葉菜美 加茂龍之介  
目時有華 遅澤美友 高田力響  
沼部準希 木村めい 木村ゆい  
大丸莉乃 兼子凜太朗 池田充希  
堅木優香 田中慶輝 高梨陸斗  
倉田知佳 吹越勇美 竹内徳峻  
橘田紫乃 篠崎あずさ 川合健斗  
有永健将 田畑優乃 中川樹  
宮本浩旗 今井菜々子 今井崇人

早船香輪 渡邊翠 中村優吾  
富田雄士 春田佳音 岩宮礼  
秋城翠沙 山田帆花 江村祥太  
柴田未咲希 小澤蓮 佐藤洋斗  
天児和樹 横場遙香 岩瀬友莉  
細川菜 石田善英 西村晴花  
伊藤颯希 大森涼子 山本一考  
田村太一 宇治川璃里 大滝琴未  
村松志朗 大内夏未 五十嵐千紗  
坊和泉 宮内萌々花 今井紅葉  
勾坂豪世 小林香凜 粕谷碧希  
大泉統弥 松川和輝 小林俊介  
安楽美世 笹村拓未 初本紗夏  
金子由美那 渡部史華 小林直吏  
戸枝優一郎 渡辺みちる  
小川源貴 外内湊大 増田遥妃  
木原由梨奈 杉山智耶 磯崎結衣  
渡邊大輝 岡村望愛 西田光貴  
杉本柀人 青山栄 尾崎結衣  
佐藤謙太 小栗千幸 山尾雄志  
中川美歩 浅野美咲 新岡尊  
小長光悠斗 渡辺紗弥花 伊藤琴乃  
若橋亜希子 若橋亜沙子  
中野かな 大口慶介 麻生若那  
長谷川温人 長谷川穂香  
小倉朋也 熊谷一馬 田中晶帆  
ツアイガ 瑠加 田浦亜弥  
山田千穂 宮川未央 石川敦也  
大野正太郎 志賀俊明 山田真悟  
真野なつみ 小牧裕美子  
石井優希 中島美花 高橋花梨  
木下大勢 吉永恭平 池端志音

藤松みさき 竹内詩 岡澤麻衣  
長島晴一 久米碧 福澤杏寿  
安蒜絵美梨 後藤泰輔 中澤友梨  
天野夢衣 来島明日美 飯川楊介  
佐々木奏太郎 井口穰 上新拓海  
竹内健悟 吉田結実 早川心  
松川美歩 内藤瑞稀 吉崎里咲  
佐藤彩乃 内島りん 渡辺大晴  
黒澤あきら 山本風香 中坪龍吾  
中林徳 根本理瑚 瀧本咲愛  
宮本雄斗 宮本雄太 小川歩珠  
森涼果 安田匠 鈴木杏友沙  
浅野颯汰 伊東航星 棚本なつき  
高橋祐貴 榎並惇太 白神菜奈  
天野里佳子 堀内恒史朗  
岩本璃々 沼田優花 永田妃美花  
松田良太 鈴木日和 須藤優雅  
五本木瑞希 中山将利 福田健人  
國武みつぎ 大波奈々 筑紫里穂  
斎須匠真 生田寛絵 木戸村直哉  
寺尾希実 島田大雅 藤井祐  
佐々歩花 西下徳二 小山陽一郎  
千野友愛 小日向桜 岡健心  
日谷文佳 小林豪 宗澤莉香  
小林雅也 齋藤圭吾 加藤力  
寺元絢音 松本彩由 高橋佳大  
扇田彩未 齋藤孝太郎 高橋真理  
大内優生 渡邊八玖雲 前沢翔吾  
久保田梨紗子 大嶋育実  
有田柚南 山田有紗 木村彩乃  
松山勇汰 新免快人 山崎琴乃  
山崎結乃 神崎天翔 神山七翔

小林夏希 糟谷美月 千田遥大  
生川翔大 名嘉星也 石田龍平  
小佐井麻帆 金子舞渚  
佐々木結花 久保慧 奥村香奈恵  
荒木佑芽 平田蒼葉 河内結太  
南木咲耶 岡部萌乃 菊池穂乃香  
岡田穂香 岸尚輝 石原悠人  
下澤麻衣 平田実里 村松花梨  
土屋奏 栗原優輝 池上翔太郎  
陽田朱海 山崎奏汰 立岡政季  
中嶋咲綺 土橋颯 檀上葵  
栗原凜子 鈴木心寧 豊原寧乃  
小澤怜奈 丹治聖陽 宮川璃月  
米山海花 小林瑞葵 佐藤綾花  
黒岩志音 近藤陽菜 西野海音  
志村ほのか 櫻井友香里  
横小路貴海 野口彩奈 望月陽太  
水上仁 飯岡陽香 新村光太郎  
高橋凜 江頭駿 高田蓮  
遠藤くるみ 沢野井奈央  
山内穂奈美 川越悠生 金田夢叶  
池原奨 吉村巧 尾竹風香  
柴田陽楽 藤田琴奈 三十苅拓巳  
菊池一真 大山紗可 田村洸貴  
倉島佑太 久保玄輝 菊武映仁  
佐藤未梨 明田川桃々 木山耀太  
戸部敬介 西村優杏 吉村歩夢  
栗田真弥 東怜央 大高直子  
高野航大 庄司真太郎 中村友哉  
北川七海 清水駿太 俵やよい  
伊東唯陽 千場和樹 五十嵐瑛名  
丹呉怜星 花岡京 太田乃愛

坪川翔一 大久保愛佳 長木怜香  
 荒井康佑 堀越日菜子 味岡颯大  
 月崎アリシア 堀優花 古川紗衣  
 関根由伽理 高橋言羽  
 實重ほのか 安達佳穂奈  
 菅田憲史 杉本蓮 山内千寛  
 三上めるも 市村恭太郎  
 水上翔瑛 鈴木優乃 小木曾巧  
 中村在 小川拓真 岩田幸志郎  
 石森大豊 関口翔太 堀ノ内琴美  
 塩田匠都 白木唯祐子 寺林格明  
 室岡明星 松本祐 長嶋顕浩  
 渡部泰斗 原万由子 渡部創志郎  
 寺本紅葉 高野真弥 伊藤星那  
 平野智紗子 古賀瑞季 伊藤美結  
 斉藤心 荒井梨里 青木まる  
 工藤杏珠 内藤有菜 鈴木湧太  
 鶴田宗春 岡本紗緒里 小池穂果  
 中澤ひとみ 川村亜綺  
 長谷川浩大 阿部千遥 坂本彩花  
 白木柚 岩淵くるみ 小野田隼斗  
 矢野遼太 継智哉 佐々木縁  
 佐藤瑞起 打越璃乃 高田明香  
 尾身悠太 長谷川月乃 塩塚亮太  
 石田響瑛 田中萌璃 辻琉宇玖  
 和田玲吾 野辺周佑 内堀優光  
 岡本杏介 佐藤樹里 濱武斗  
 畠山大樹 荒木瑚白 谷合姫菜乃  
 新原大樹 森佳恵 義岡美怜  
 堀江俊輔 佐々木静音 平田理恋  
 小川すみれ 山本雄大 中島千尋  
 竹内萌々花 太田康介 片野航成

櫻井翼 徳田梨音 藤村裕希  
 市川幸紀 内村直温 宮内咲良  
 井坂未依奈 毛利理暉  
 和氣友里恵 左部周平 山田幹  
 大神田聖人 高村陽菜 澁木灯  
 田中玲央 安東季胤 田中寛人  
 三塚百々花 千葉雪乃 徳永涼介  
 恩田耀 菊間大耀 酒井実優  
 杉崎遥香 川原杏月 土方美月  
 仲田琉馬 岩淵柚葉 西尾涉  
 香坂桃佳 館野奈々 佐谷光瑠子  
 山元楓 藤森佑太郎 北林真拓  
 伊藤里輝 木間歩 森彪太郎  
 千波美雪 赤星里依 二本柳宏征  
 楠本健太 中村圭一 平野直  
 寺尾爽 織田真乃介 見田彩音  
 金子皓一 金子友莉子  
 羽井佐柊吉 小林嘉月  
 池田宗ノ介 石崎暖土  
 梁川亜以奈 岩切楓 小原亘世  
 寺本日和 相原紗雪 稲葉七海  
 秋山明子 渡邊陽奈 宮坂藍子  
 中村佳多朗 百瀬隼太  
 長谷川愛奈 鈴木航平 西土真由  
 岩本奈々 秋元泰喜 勝浦純平  
 小泉凜 鈴木渡海 大越悠暉  
 水野拓実 田中彩愛 今泉咲乃  
 鶴田梨和 田嶋梨央 若林幸聖  
 大野凜太郎 岩田花鈴 芹澤紫音  
 前田真由子 榎崎萌恵 吉田日奈  
 中島歌梨 古山涼太 山本彩嘉  
 小澤実玖 校條乃綾 宮川慶司

山田侑希 朝香涼子 荒瀬人  
 大江正行 千葉百華 藤岡育未  
 飯嶋寛晃 末長拓也 望月勇貴  
 望月恒貴 松田愛 佐口幸太郎  
 高堂颯太 森千紗 安食里香  
 増田慶太 疋田海音 村山実優  
 井上優翔 新岡遥  
 フロチエル勝浦瑠音 黒柳翔太  
 藤井和日 徳光優心 武石伊織  
 石井彩菜 菊地啓太 青木沙恵  
 柴山月希 小山寛士 石田尚巨  
 小堺結 大水円 米倉敦史  
 川越賀之 千葉直都 金子菜梨  
 槌井香菜子 筒井涼介 斎藤誠  
 稲川聖美 永野敦也 岸田郁美  
 渡辺果花 矢野瑛士 千北明日斗  
 篠崎風奏 荒木友彩 平松歩  
 青島礼奈 宮内優樹 菊谷瑚万  
 宮嶋凜 大河原啓悟 中江隼大  
 白鳥友彩 金指一世 山梨弘翔  
 藤本妃加里 小笠原己哲 山本華  
 山根愛生 飯野雄翔 森創太  
 本田麟太郎 石井柊風 草場玲那  
 熊倉来実 佐藤元 粕谷怜汰  
 森田日菜 北川小春 川崎愛海  
 黒川怜 大内健新 片山雄太  
 後藤佑介 梅田至 梅田歩  
 高野杏 横山龍太郎 岩井零  
 秋元駿太郎 岩野麻奈未  
 田中大登 住友南月 坂本薫琉  
 ベーターセン宮田・仁奈  
 五十嵐啓太 新井瑞穂 槇浩平

飯塚のどか 川崎碧 川埜凜  
 青木大空 福田宇京 佐々木琉璃  
 神村美欧 大川航英 市野好朗  
 高橋侃汰 高橋怜汰 野崎康太郎  
 西岡彩 磯部咲衣 松本佳樹  
 岩堀美琴 萩原和奏 新宮恋歌  
 刀祢侑衣 進藤彩歌 菊池菜生  
 安原美詩 松本怜実 佐藤大誠  
 岩井りあ 中村梨奈 佐藤陽昂  
 山本明日香 小宮山綾美  
 下世古七海 ベリッジ京メアリー  
 山崎大雅 安藤翔一 山本考樹  
 山崎莉乃 森脇千莉 塚田進介  
 鈴木颯 山本菜那 中村友香  
 中村文香 伊藤真 高柳信之介  
 小澤昌也 神巻日奈子 八巻美彩  
 平野倫太郎 永野歌梨 横田彩人  
 小田悠晴 濱砂果穂 小林心  
 高柳和弥 宮里真生 山本暁  
 川村昂大 山本梨貴 中野優  
 国本愛海 和久翔大 何森広  
 恩田源太 池本愛 藪本彩芽  
 石橋彩愛 田中佑輝 鮎川佳椰  
 中村美琴 山下裕己 星野舜人  
 田中健太  
 中林陽菜 野村隼大 蜂屋隆斗  
 工藤翼 新井啓太 猪又望  
 浜中陸 小澤碧 磯野寧子

前号に於いて未掲載の方々を、  
 本号に掲出させて頂きました。  
 深くお詫び致します。

# 杜の話題

## 十六年新春の表情

平成十六年甲申（きのえさる）年。元旦午前零時、宮司の打つ一番太鼓が寒気をついて轟きわたり神門が開門。年頭の思いを込めた参拝者で境内があふれる中、社殿では能楽師野村四郎氏により神能「独り翁」が奉納され、ついで新春開運厄除大祈禱祭（一番祈禱）が斎行されました。

午前八時、宮司以下祭員により歳旦祭を奉仕。うらかな日和となった日中には立正佼成会庭野日鏡会長、山田宏杉並区長らが初詣をされました。

二日は午前十時より小笠原宗家嫡男清基氏ら小笠原流一門により大式的が奉仕されました。大式的は直垂に風折烏帽子姿の射手が直径五尺二寸（一五八セ



ンチ）の大式的に矢を放つ儀式で天下の邪悪を祓う除魔神事です。

三日は皇室と国家の始めを祝う元始祭を斎行。昼には石原伸晃国土交通大臣もご家族お揃いで参拝されました。

三ヶ日で昨年より多く十万余の初詣の方々に終日社頭が賑わいました。



## 大賀蓮を奉納 大賀一郎博士の縁者が

故大賀一郎博士によって現代にのみがえった古代の「大賀蓮」がこのほど当宮に奉納されました。

大賀蓮は大賀博士の研究により昭和二十六年、千葉市の東京大学検見川農場の泥炭層の中から二千年前の古蓮の実を発掘、発芽に成功し、淡紅色の花を咲かせました。このニュースは敗戦によって打ちひしがれていた日本人に明るい希望をもたせ、「オーガ・ロータス」として全世界の反響をも呼びました。

今年度の奉納は御鎮座九四〇年の奉祝記念として大賀蓮の会・神門長良氏（相模原市在住）の篤志でなされたもの。神門氏は

## 文化財防火デー消防訓練

一月二十六日は文化財防火デー。この日を中心に都内でも八十力所の神社仏閣などで消防訓練が行われたと伝えられますが、当宮でも自衛消防訓練が実施されました。

午前十時半、御本殿からの出火を想定、非常ベルで火災の発生を知らせると同時に一一九番通報。参拝者や大宮幼稚園園児の避難誘導、消火器等による初期消火につづき、駆けつけた杉



並消防署消防隊、杉並消防団第二分団、当宮自衛消防隊による一斉放水により無事鎮火しました。演習終了後は参加された地元町会の

## 初詣旅行・熊野三山へ



大賀博士の甥に当たられ、博士の遺志を継ぎ、大賀蓮を守り育てている方です。桃の節句の三月三日、神門氏紹介者の切画師・風祭竜二氏等が参列して奉納奉告祭が斎行されました。

恒例の伊勢神宮初詣旅行が一月二十一日～二十四日の三泊四日で行われ、内外両宮とともに熊野三山を参拝しました。

今年の旅行には五十名が参加。二十一日夕、当宮を出発したあと川崎港より一万二千トンの力



「フリー・マリンエキスプレス」に乗船。翌二十二日早朝、那智勝浦港に入港後、先ず熊野本宮大社に参拝、次いで熊野速玉大社を参拝。午後には熊野那智大社より青岸渡寺を巡拝し南紀勝浦の浦島泊り。三日目は一路伊勢に向かい、滝原宮に立寄り外宮、内宮の順に御垣内参拝をして鳥羽に宿泊。そして最終日の二十四日は静岡浅間神社に参拝、夕刻元気な姿で当宮に帰着しました。

### どんど焼き

一月十五日午前、小正月恒例の行事である古神札焼納祭(どんど焼き)が当宮境内で行われました。この日まず月次祭並古神札焼納奉告祭がご社殿にて執り行われたあと、境内斎場で焼納祭を斎行。祝詞奏上につづき火切神事が行われ、古代さながら轆轤(ろくろ)の火切り具で忌み火を起こし、年末年始神社に納められた古神符守札類、正月飾りなどが積み上げられた山に着火されると、参拝者は淨火に手をかざして今年一年の無病息災を祈りました。

特に本年から将来に亘りこの行事を存続させる為、係員を配置して、お納め頂く際点検をさせて頂き、燃えない物や神社に關係のない物はお断り致し、お持ち帰り頂きました。その結果、この行事にご奉仕頂いた消防団



員より例年の様に変な匂いもせず、綺麗に燃え尽きたとの感想も寄せられました。

### 御鎮座九四〇年奉祝記念樹日独さくらの女王らが植樹

当宮さくらまつり期間中の去る三月二十八日、日本とドイツのさくらの女王が来宮、譜日本さくらの会(会長・河野洋平衆議院議長)奉納の当宮御鎮座九四〇年奉祝記念樹を境内に植樹致しました。

記念植樹を行ったのは第二十二代さくらプリンセスの藤田真理子さんと第二十三代ドイツ・ハケ・タツリンスさん。譜日本さくらの会では三月二十七日を「さくらの日」とし、この日を中心にさくら祭り中央大会など諸行事を実施していますが、今年には記念植樹地として小諸の懐古園とともに九四〇年の当宮が選



### 節分祭・追儼の儀 桃の弓 葦の矢で

立春を前に二月三日、節分祭が斎行され、境内では除災招福を願う豆撒き神事も行われました。



この日、前夜来の雨も上がり、ほのかに春の訪れも感じられる中、午前十時より節分祭を斎行。宮司

ばれました。当日は午前十一時四十五分より社殿にて奉納奉告祭を斎行のち修復なった赤門脇の神苑にて植樹の儀。両さくらの女王、また参列の、山田杉並区長らによつて奉祝記念樹「八重紅枝垂」が植樹されました。植樹終了後は日独さくらの女王を囲んで歓迎セレブションが催されました。

### さくらまつりも

恒例のさくらまつりが三月二十日から四月四日の土、日曜に催され、夜間には境内のさくらもライトアップされ、とくに三月二十七日夕には日・独さくらの女王記念植樹祭の前夜祭を兼

の祝詞奏上のあと追儼の儀が行われ、桃の弓にて葦の矢が天、地、人と射られました。ついで鬼のお面をかぶつた大宮幼稚園児や氏子崇敬者が居並ぶなか豆撒き神事が行われ、豆が撒かれるたびに境内では大きなどよめきが起りました。



ね地元西永福のアイドル歌手、クラウンレコード「芽はる」の歌謡ショーが奉納された他、期間中境内にはお休み処やお茶屋も設けられ、春宵の一刻をそぞろ楽しむ参拝者で賑わいました。



### 紀元祭に併せ イラク派遣自衛隊安全祈願祭 も斎行

建国記念の日の二月十一日、紀元祭が斎行され、神武肇国の昔を偲びました。また紀元祭に併せイラク派遣自衛隊・隊員安全祈願祭を執り行いました。

紀元祭は十一日午前十時より斎行、国歌「君が代」を斉唱のあと、宮司が祝詞を奏上。ついで神楽「浦安の舞」が奉奏されたのち参列者を代表して高千穂大学大関雅成理事長、同藤井耐学長、大泉時男元杉並区議会議長、立正佼成会黒澤国雄杉並教会長らが次々に玉串を奉りて拜礼。

次いで神門前参道広場を齋場に檀原神宮遥拝が行われ、全員で「紀元節」を声高らかに奉唱しました。



### 各社で初午祭 谷中稲荷・石原大臣も参列

派遣自衛官の安全祈願祭の斎行を全国神社に呼びかけています。当宮でも二月十一日紀元祭に併せ安全祈願祭を行い、以降恒例祭や朝の御日供祭に併せ、連日、安全をお祈りしております。

二月九日は初午。この日は稲荷大神が京都・伏見の峰に天下りなされた日ですが、当宮でも境内の大宮稲荷神社や兼務各社で初午祭が執り行われました。

大宮稲荷神社の初午祭は当宮御鎮座九四〇年記念事業で再建された稲荷鳥居六基の朱が映えるなか、午後一時より宮司以下祭員奉仕により斎行。各々のご家業の繁栄を祈り祭典後は熾り奉納者など参列者が出席して清涼殿にて直会が行われました。

また、方南一丁目にある境外社、谷中稲荷神社の初午祭は午後三時より斎行。祭典後参列の石原伸晃国土交通大臣や稲荷講



の講員らは七輪で焼いた鯛や油揚げに舌鼓を打ち乍ら楽しい直会の一ときを過しました。この他堀内稲荷神社は同日午前、また尾崎稲荷神社、白山稲荷神社は前日八日に初午祭が斎行されました。

### 立正佼成会杉並教会 和田第一支部がご参拝

立正佼成会杉並教会和田第一支部では毎年、年頭に当宮に参拝されていますが今年も去る二月八日、吉田高子支部長以下百名の会員の皆さんが参拝、身体健勝・家内安全のご祈願をされました。ついで清涼殿にて新春の集いが開催され、鎌田宮司が講話を行いました。

### 大宮天神祭 奉納「行燈」募集

夏の風物詩として恒例の大宮天満宮の天神祭が、今年も七月二十五日に行われます。

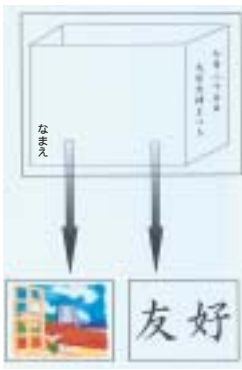
先ず、学業技芸の向上を祈る天神祭を午後六時より斎行し、午後七時より社殿前において、



和太鼓の奉納演奏が「時間をはずした日の祭事」として執り行われます。  
又今年も奉祝の「書画行燈」を左記の通り募集致しますので奮ってご応募下さい。

記

- ・水彩画、習字等を指定の用紙を使用してご応募下さい。
  - ・用紙は、六月より無料でお配り致します。
  - ・用紙は、横長でご使用下さい。
  - ・作品には、必ず名前を書き入れて下さい。また申込み用紙に住所氏名をご記入下さい。
  - ・締切りは、七月十日です。
- お問い合わせは、社務所まで。





大被のご案内

恒例の夏越(なごし)の大被を来る六月三十日午後四時より神門前広場の齋庭で齋行致します。大被は私どもが日頃知らぬ間におかした罪や心身にうけたけがれを洗い清める大切な神事で、古来国家の一大行事として六月と十二月の晦日に行われて来ました。

神事では人の形をした形代に息を三度吹きかけ、境内の茅の輪を左右左と三度まわってくぐります。茅の輪くぐりは、善行をした蘇民将来が武塔神(素盞鳴尊)から「もし疫病が流行したら茅の輪を腰につけると免れる」と教えられ、疫病を免れたという故事に基づくものです。特に夏越の大被は「水無月の夏越しの被する人はちとせの命

さつき展示会

「第二十四回杉並大宮さつき展示会」(主催大宮さつきの会・後援杉並区)が、来る五月二十四日(六月二日)まで開催されます。

氏子崇敬者の会員より例年約百鉢のさつきが出品されます。この展示会の特徴は賞を設けないので、初心者でも参加出来る展示会です。入会ご希望の方は、

のぶといふなり」ともうたわれています。多くの皆様のご参列をお待ち致しております。



社務所までお問合せ下さい。

また、期間中の日曜日には、さつき作りの講習会も実施されます。



平安・七夕「乞巧奠」

平安の七夕飾り「乞巧奠(きこうでん)」を今年も七月一日より十五日の間、清涼殿ロビーにて再現公開致します。

乞巧奠は筆硯や楽器などをお飾りして学問技芸の上達を願う行事。牽牛織女の伝説などから中国で行われていたものが日本に入り、お盆の前ぶれの神を清らかな乙女が川のほとりで機(はた)を織りながら迎える棚機(たなばた)つ女の風習と習合して、宮中を中心にごく行われたと云います。



す。期間中の四日と十一日の夕べには雅楽の奉奏も行われます。

水の恵みに感謝し 多摩清水社例祭

境内神社・多摩清水社(水神様)の例祭が水の日の八月一日午前、月次祭に引き続き齋行されます。

「広き野に靈の清水のあるところ」(青歌)と詠まれているとおり、多摩清水社より御神水が湧き出ております。多摩清水社例祭は水神様の御徳をお慕い申し上げ、私どもの生命の源である水の恵みに改めて感謝の誠を捧げるお祭りです。



平成十六年大宮八幡祭 (秋の大祭)日程について

本年の大宮八幡祭(秋の大祭)は祝日法の改正により日程が次の通り変更になりました。

(敬老の日が、九月第三月曜日になったので、当宮の祭典行事はその前の土・日曜日に斎行する。)  
\*例大祭は、従前通り九月十五日に斎行する。

\*神輿神霊入、未社若宮八幡神社例祭は九月十七日に斎行する。

\*宵宮祭は九月十八日に斎行する。

\*奉祝当日祭、第十九回神輿合同宮入は、九月十九日に斎行する。  
\*神輿神霊還しは、九月二十日に斎行する。



卒園式を間近に控えた三月十二日、待望の高尾山おわかれ遠足に年長児九十九名と園長先生と全職員で行くことができました。三月とはいえ当日はまだ膚寒く毛糸の帽子や手袋を持参しての登山でしたが、登っていくうちにどの子ども汗ばみ、心配していた頂上での昼食も楽しくでき、大満足なおわかれ遠足でした。



### 第五十四回卒園式

卒園式の前日は雨模様でしたので心配しましたが、薄日が射す天気になり無事第五十四回卒園式を行うことができました。子ども達の顔はより輝やき、りっぱに見えました。式が始まり緊張している顔を見ていると、三年前二年前のひとりひとりの姿が思い浮かび、「大きくなったな。」「早く帰りたいと泣いていたな。」「とたくさんの日々が思い出されます。クラス全員で力を合わせてがんばった事、ちよっぴりけんかをした事どれも思い出です。一緒に笑える仲間に出会えた事を大切な宝物にして新



たな思い出を増やしてほしいです。いつまでも先生達は応援しています。そして素敵な子どもたちに出会えた事を本当に幸せだと思っています。大人になっても素直な心と感謝の気持ちを忘れずに社会に飛び立って行くことを願っています。私も園児一〇二名と共に卒園しました。幸福な日々感謝しています。

副主任 富永啓美



## 緑豊かな都心の社。 正統派神前式

初 宮 詣  
宴 集 会

衣装・美容着付・写真・  
饗膳きょうぜん(ご会食)など承ります。

清涼殿

03(3312)7515

結婚式挙式者芳名(敬称略)  
(平成十五年十二月一日)  
十六年三月三十一日

土屋禎・友紀子、弘島憲・直子、小野隆一郎・綾子、水木正太・幸恵、伊藤進護・寛子、住田隆・佐衣子、渋谷謙作・佳代、高橋道明・美香子、山田康雄・彩子、斉藤睦・亜紀子、井上裕介・文子、緒方健二・麻友美、大島英彦・直子

### 春の大祭のご案内

当宮では昨年、御鎮座九四〇年を迎え、九四〇年記念の整備事業を進めて参りましたが、諸事業も完遂され、装いも新たになった神域にて、来る五月一日より五日の間、春の大祭（つじ祭）が斎行されます。期間中は五日の大祭当日祭（尚武祭）をはじめ、三日に子供の祭・稚児行列、二日には植樹祭が行われます。又四月二十八日には裏千家献茶式、翌二十九日には弓道の奉納射会が催され、境内は参拝の方々に賑わいます。

#### 弓道奉納射会

四月二十九日は終日、大宮八幡宮弓道場振武殿にて弓道奉納射会が行われます。奉納射会は当宮主催、当宮振武会の共催で開かれるもの。矢渡し式が古式に則り執り行われたと射



会。都内はもとより近県より参加の弓友が高校の部、一般の部に分かれ、日頃の鍛錬の成果を競い合います。

#### 子供の祭・稚児行列

五月三日午後、春の大祭子供の祭と奉祝の稚児行列が行われます。まず午後一時三十分、子供の祭を斎行。お子様の健康と成長を祈願します。ついで稚児行列にうつり、立正佼成会杉並教会の鼓笛隊を先頭に稚児、子供の飛入りの参加自由の太鼓山車、ボーイ・ガールスカウト、そして猿田彦や陣羽織などの行列が南参道、方南通り、表参道のおよそ一・三キロの道程を行進します。

#### 植樹祭

五月二日午後二時には全国緑化運動に因み、当宮みどりの会會員らが参列



して植樹祭を境内神楽殿横にて斎行。つづいて苗木の無料頒布が行われます。

#### 第二日ノ儀・挙式者の集い

五月四日は午前十時より春の大祭第二日ノ儀を斎行。つづいて清涼殿では当宮で結婚式を挙げられたカップルをお招きして「第四回挙式者の集い」を開催。集いでは「東方異聞」と題して和楽器等による新邦楽の演奏「わかば in 大宮」も開かれ、参拝者の皆様もご鑑賞いただけます。



#### 献茶式

四月二十八日第五回目の茶道裏千家献茶式が午前十時より執り行われます。今回の献茶式は裏千家鵬雲斎千玄室大宗匠（先代お家元）のご奉仕により斎行。境内では裏千家淡交会東京第六西支部の奉賛添釜茶会が実施されます。



春の大祭祭典と行事	4月28日
裏千家献茶式	4月29日
弓道奉納射会	4月29日
朔旦祭並びにつじ育木祭	5月1日
植樹祭	5月2日
子供の祭	5月3日
稚児行列	5月3日
古武道奉納演式	5月3日
民話語りちんじゅの森物語	5月4日
第二日ノ儀	5月4日
挙式者の集い	5月4日
若葉 in 大宮コンサート	5月4日
杉並太鼓演奏	5月5日
春の大祭当日祭(尚武祭)	5月5日
野点	5月5日
雅楽演奏	5月5日
雅楽演奏	5月5日
雅太鼓演奏	5月5日
植木・盆栽展	5月3日～5日
御嶽様名神社例祭	5月16日
さつき展示会	5月16日
大被(夏越被)	5月24日～6月2日
七夕・乞巧奠飾り	6月30日
大宮天神祭(書画行燈掲出)	7月1日～7月15日
多摩清水社例祭(水神祭)	7月25日
戦歿者慰霊祭	8月1日
朔旦祭	8月15日
月次祭	毎月1日
古民具骨董市	毎月15日
お朔日参りを致しましょう	第4土日

# 春の大祭(つつじ祭)

## 5月3日~5日



新緑の木々の中を宮司以下参進  
(5月5日春の大祭当日祭)(尚武祭)



斎館前



奉茶の儀



直会



雅太鼓奉納演奏



稚児行列にはスカウトや陣羽織、子供太鼓など多くの供奉が(5月3日)

大 宮 第69号

**春の大祭号**

平成16年5月1日発行

**大宮八幡宮社務所**

東京都杉並区大宮2・3・1

電話(3311)0105〒168-8570



期間中境内では野点(5月5日)や植木市が(3日~5日)